

木の芽

柴

舟

いき／＼と垣の木の芽がひかる故初夏の日を見にいでにけり
つゝましく瞳をあげて朝の空深き緑に心をひたす

桑の葉のやはらかなるに透きとほる日かげしみ／＼うれしかりけり
人もなき農家の庭をよぎるときこぼれぬ藤の花としづく

敵もなき戦をすと思ひつゝ野に出で来てはまたも愁ふる

麦ばたの末はるかなる山脈のあは／＼しきも堪へず心に

わがあらぬその日にもなほ夏は来む争ひあひて木々は生ふらむ

さをどりて初夏の水ゆく中に涙みちたる目を落しけり

衰へに近づく中の一日をうれしとおもひ野を歩むかな

春風歌

竹田みち

博オホヒナリ分ヒ春風恩

春風暖何樂ケ

春風習々トシシズ來キ於ヨリ東

天氳地氳衆萌發シ

千山萬嶽氷雪泮トク

鶯出ハデ幽谷遷ウツリ喬木

翠柳紅桃色盈々

如今春風日々に到リ

農夫荷鋤入ヒテ東畝リ

翁媪笑語耕春田ニ

樂シ只春風暖

春風恩何博ゾナル

靄々クモクモ嬈々復融々

煙搖霞曳暖氣通ズ

四郊八垌梅花璨タリ

燕辭ハシ舊樓來ル新館

白鷺黃鸝音清々

山村水落韶光晶アキラカアリ

樵婦負薪出ハヒテ西阜ツツ

童子提攜餉阿母ニ

君不見春風所扇春如掃
又不見仁風恩露溢四海
遠樹蒼々圍烟隴
黃花白蝶飛淡霞
紅雨斑々婀娜枝
淡粧濃抹如西子
白帆蒼波歷落渚
春雨始霽天如拭
燕々語春風之惠
張翼差池飛雲表
博兮春風恩
春風暖何樂
春風暖即父母恩
知得春風化育惠

堯天舜日樂陶々
天化地育詩景饒
近水涓々繚晴圃
翠袖紅裳舞紅雨
淡霞靄々清楚姿
滿天滿地都是詩
漁歌欸乃遠近漱
百尺橋頭燕々語
春風三月吾子慧
極天極地恩無際
樂只春風暖
春風恩何博
春風恩即父母恩
父母恩愛豈可諉

白い孔雀と涙

私はあなたの涙が好きです。緑の玉の如きその涙よ！
私が物好きに路であつた人の話をする時、一日一日濃くなつてゆく青葉の樹に見
入る時、朝から春の雨が降つて二人で寂しく坐つて居る時、
あなたの眼にはいつも涙が一杯たまつてゐる。あなたの心だからだどが一色にとけ
てあなたの眼にたまつてゐる。

私は白い孔雀が好きです。ダイヤの如きその目よ！ それよりも貴いあなたの涙
よ！
私は金鷄鳥の様に着飾つた女を見る度に、白い孔雀を思ひます。そしてあなたの
涙を思ひます。
私が若し兎の様に臆病でなかつたら、世界中の白孔雀といふ白孔雀を我ものにし